

令和5年度 第2回 蕨市介護保険運営協議会 次第

日時 令和6年3月5日(火)

午後1時30分から

場所 蕨市役所 2階 2-1会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議題

- ・介護保険特別会計予算(令和5年度補正・令和6年度当初)について
- ・地域区分について

4 閉 会

介護保険特別会計予算の概要(対前年度比較)

資料1-1

(単位:千円)

歳 入	令和5年度 当初 ①	令和5年度 3月補正後 ②	令和6年度 当初 ③	補正前後 比較 ②-①	当初 比較 ③-①	備 考
歳 入 合 計	5,655,000	5,894,529	5,805,000	239,529	150,000	補正前比 +4.24% 前年当初比 +2.65%
介護保険料	1,142,553	1,142,553	1,168,120	0	25,567	保険給付費および地域支援事業の23%
国庫支出金	1,272,278	1,282,683	1,312,982	10,405	40,704	国
うち介護給付費分	929,846	936,567	955,033	6,721	25,187	居宅給付費の20% 施設等給付費の15%
うち調整交付金分	252,800	254,810	261,207	2,010	8,407	保険給付費および地域支援事業費の 令和5年度4.67% / 令和6年度4.71%
うち地域支援事業分	74,290	74,290	82,707	0	8,417	介護予防日常生活支援総合事業の20% 包括支援・任意事業の38.5%
うち災害分	0	74	0	74	0	東日本大震災被災者の保険料減免等に対する補助金
うち事業費分	0	1,600	0	1,600	0	システム改修事業補助金
うち保険者強化推進交付金分	6,721	6,721	5,411	0	△ 1,310	自立支援・重度化防止等の取り組みを支援するための交付金
うち保険者努力支援交付金分	8,621	8,621	8,624	0	3	介護予防・健康づくり等に資する取り組みを支援するための交付金
支払基金交付金	1,457,656	1,464,680	1,497,372	7,024	39,716	
うち介護給付費分	1,410,413	1,417,437	1,449,357	7,024	38,944	保険給付費の27%
うち地域支援事業分	47,243	47,243	48,015	0	772	介護予防日常生活支援総合事業の27%
県支出金	809,390	811,124	835,361	1,734	25,971	県
うち介護給付費分	767,872	769,606	789,562	1,734	21,690	居宅給付費の12.5% 施設等給付費の17.5%
うち地域支援事業分	41,518	41,518	45,799	0	4,281	介護予防日常生活支援総合事業の12.5% 包括支援・任意事業の19.25%
一般会計繰入金	894,871	871,220	909,971	△ 23,651	15,100	市
うち介護給付費分	652,969	656,221	670,998	3,252	18,029	保険給付費の12.5%
うち地域支援事業分	41,518	41,518	45,799	0	4,281	介護予防日常生活支援総合事業の12.5% 包括支援・任意事業の19.25%
うち低所得者の介護保険料軽減分	64,036	64,036	59,668	0	△ 4,368	低所得者の介護保険料軽減負担金(国1/2、県1/4、市1/4)
うちその他分	136,348	109,445	133,506	△ 26,903	△ 2,842	事務費分
介護保険給付費準備基金繰入金	77,477	92,062	80,470	14,585	2,993	
財産収入	477	667	469	190	△ 8	利子及び配当金(給付費準備基金預金利子)
繰越金	100	229,342	100	229,242	0	前年度決算の剰余金(給付費負担金等の翌年度返還分など)
諸収入	198	198	155	0	△ 43	
うち延滞金、加算金及び過料	11	11	11	0	0	延滞金、過料
うち雑入	187	187	144	0	△ 43	第三者納付金、返納金、地域支援事業収入、雑入

介護保険特別会計予算の概要(対前年度比較)

資料1-2

(単位:千円)

歳 出	令和5年度 当初 ①	令和5年度 3月補正後 ②	令和6年度 当初 ③	補正前後 比較 ②-①	当初 比較 ③-①	備 考
歳 出 合 計	5,655,000	5,894,529	5,805,000	239,529	150,000	補正前比 +4.24% 前年当初比 +2.65%
保険給付費	5,223,754	5,249,769	5,367,992	26,015	144,238	補正前比 0.5% 前年当初比 +2.76%
うち介護サービス等諸費	4,859,703	4,885,718	5,000,223	26,015	140,520	令和5年度当初 居宅 2,925,682千円 施設 2,298,072千円 令和5年度補正後 居宅 2,982,056千円 施設 2,267,713千円 令和6年度当初 居宅 2,996,701千円 施設 2,371,291千円
うち介護予防サービス等諸費	124,638	124,638	125,923	0	1,285	
うち高額介護サービス等費	123,193	123,193	125,803	0	2,610	
うち高額医療合算介護サービス等費	18,091	18,091	17,737	0	△ 354	
うち特定入所者介護サービス等費	94,423	94,423	94,613	0	190	
うちその他諸費(審査支払手数料)	3,706	3,706	3,693	0	△ 13	
地域支援事業費	291,809	301,120	300,421	9,311	8,612	
うち介護予防・生活支援サービス事業費	160,146	160,146	157,438	0	△ 2,708	
うち一般介護予防事業費	29,041	38,352	20,056	9,311	△ 8,985	
うち包括的支援事業費	84,335	84,335	103,289	0	18,954	
うち任意事業費	17,917	17,917	19,295	0	1,378	
うちその他諸費(審査支払手数料)	370	370	343	0	△ 27	
基金積立金	478	90,838	470	90,360	△ 8	
うち介護保険給付費準備基金	478	90,838	470	90,360	△ 8	
総務費	134,555	133,178	131,853	△ 1,377	△ 2,702	
うち総務管理費	88,966	87,589	83,735	△ 1,377	△ 5,231	
うち徴収費	7,274	7,274	8,317	0	1,043	
うち認定費	38,315	38,315	39,801	0	1,486	
諸支出金	2,520	117,740	2,520	115,220	0	還付金・還付加算金・返還金
予備費	1,884	1,884	1,744	0	△ 140	

令和5年度3月補正予算・令和6年度当初予算

資料2

(単位:千円)

1. 居宅・地域密着・施設	R5補正予算 (A)	R6当初予算 (B)	比率 (B)/(A)×100
(1)居宅サービス	2,604,665	2,694,072	103.4%
① 訪問介護	432,502	455,420	105.3%
② 訪問入浴介護	30,203	25,299	83.8%
③ 訪問看護	165,308	177,189	107.2%
④ 訪問リハビリテーション	21,778	31,936	146.6%
⑤ 居宅療養管理指導	121,463	136,553	112.4%
⑥ 通所介護	721,060	722,804	100.2%
⑦ 通所リハビリテーション	46,039	57,313	124.5%
⑧ 短期入所生活介護	162,111	167,741	103.5%
⑨ 短期入所療養介護	5,436	5,937	109.2%
⑩ 福祉用具貸与	154,041	149,917	97.3%
⑪ 特定施設入居者生活介護	726,822	744,234	102.4%
⑫ 福祉用具購入	5,802	5,029	86.7%
⑬ 住宅改修	12,099	14,700	121.5%
(2)地域密着型サービス	525,388	545,404	103.8%
① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	19,456	21,186	108.9%
② 夜間対応型訪問介護	401	100	24.9%
③ 認知症対応型通所介護	11,316	8,999	79.5%
④ 小規模多機能型居宅介護	84,280	90,619	107.5%
⑤ 認知症対応型共同生活介護	241,141	245,032	101.6%
⑥ 地域密着型特定施設入居者生活介護	100	0	科目設定
⑦ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	100	0	科目設定
⑧ 看護小規模多機能型居宅介護(旧複合型サービス)	1	0	科目設定
⑨ 地域密着型通所介護	168,592	179,468	106.5%
(3)居宅介護支援	256,234	257,919	100.7%
(4)介護保険施設サービス	1,499,431	1,502,828	100.2%
① 介護老人福祉施設	1,033,170	1,064,595	103.0%
② 介護老人保健施設	386,785	423,327	109.4%
③ 介護療養型医療施設	53,934	100	0.2%
④ 介護医療院	25,541	14,806	58.0%
合計(Ⅰ)	4,885,718	5,000,223	102.3%

2. 介護予防・地域密着介護予防	R5補正予算 (A)	R6当初予算 (B)	比率 (B)/(A)×100
(1)介護予防サービス	108,273	107,858	99.6%
① 訪問入浴介護	1	1	科目設定
② 訪問看護	13,188	12,372	93.8%
③ 訪問リハビリテーション	5,873	5,440	92.6%
④ 居宅療養管理指導	9,185	10,681	116.3%
⑤ 通所リハビリテーション	14,113	11,851	84.0%
⑥ 短期入所生活介護	941	775	82.4%
⑦ 短期入所療養介護	100	100	科目設定
⑧ 福祉用具貸与	14,008	16,281	116.2%
⑨ 特定施設入居者生活介護	40,962	38,742	94.6%
⑩ 福祉用具購入	1,728	2,615	151.3%
⑪ 住宅改修	8,173	9,000	110.1%
(2)地域密着型サービス	301	300	99.7%
① 認知症対応型通所介護	100	100	科目設定
② 小規模多機能型居宅介護	100	100	科目設定
③ 認知症対応型共同生活介護	100	100	科目設定
(3)介護予防支援	16,064	17,765	110.6%
合計(Ⅱ)	124,638	125,923	101.0%

総給付費	R5補正予算 (A)	R6当初予算 (B)	比率 (B)/(A)×100
総給付費(Ⅲ) = 合計(Ⅰ)+合計(Ⅱ)	5,010,356	5,126,146	102.3%

標準給付費	R5補正予算 (A)	R6当初予算 (B)	比率 (B)/(A)×100
総給付費(Ⅲ)	5,010,356	5,126,146	102.3%
特定入所者介護サービス費等給付費	94,423	94,613	100.2%
高額介護サービス等給付費	123,193	125,803	102.1%
高額医療合算介護サービス等給付費	18,091	17,737	98.0%
算定対象審査支払手数料	3,706	3,693	99.6%
合計	5,249,769	5,367,992	102.3%

※特例給付費で科目設定が千円あるため、合計が千円一致しない箇所があります。(令和6年度科目削除)

地域分析・検討結果記入シート

保険者名 蕨市

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	データの値																全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	問題を解決するための対応策(理想像でも可)	
				自保険者				埼玉県平均				全国平均				比較地域							
																埼玉県							
																戸田市							
				R2	R3	R4	R5																
認定率	B4-a	%	見える化・時系列	17.6	18.1	18.3	19.1	15.8	16.2	16.7	17.2	18.7	18.9	19.0	19.3	16.0	16.5	16.9	17.2	(全体)県平均より高く、全国平均より低い。 重度認定率は低い、軽度認定率が高い。	独居または高齢夫婦のみの世帯が多い、早い段階から介護保険サービスの利用希望があるのではないか。	地域での活動を通じた介護予防事業の普及。 有償ボランティアなど、地域で支え合う仕組みの充実。	
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)	17.9	18.2	18.5	-	17.8	18.0	18.3	-	18.7	18.9	19.0	-	18.0	18.2	18.6	-				
調整済み重度認定率(要介護3~5)	B6-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)	5.4	5.5	5.6	-	6.4	6.5	6.6	-	6.4	6.5	6.5	-	7.1	6.9	7.1	-				
調整済み軽度認定率(要支援1~要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(他地域と比較)	12.5	12.7	12.8	-	11.5	11.6	11.7	-	12.3	12.4	12.5	-	11.0	11.3	11.5	-				
				R2	R3	R4	R5																
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列	2.5	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.6	2.8	2.8	2.8	2.8	2.4	2.4	2.3	2.3	居住系サービスの受給率が、戸田市と共に、全国・県平均よりも高い。	独居または高齢夫婦のみの世帯が多い圏域内に多数の有料老人ホームが設置されており、在宅サービスの代わりとしてのニーズが高いと考える。	定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの周知や利用により、在宅介護の選択肢を増やす。	
受給率(居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列	2.0	2.0	2.2	2.3	1.3	1.3	1.4	1.5	1.3	1.3	1.3	1.4	2.0	1.9	2.0	2.1				
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列	8.8	9.2	9.4	9.9	8.0	8.3	8.6	8.8	9.9	10.2	10.4	10.5	8.5	8.7	9.2	9.2				
				R2	R3	R4	R5																
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列	126,517	128,460	130,986	132,922	125,887	127,131	127,802	131,279	129,423	130,299	130,071	133,320	141,001	143,323	143,154	148,341	在宅および居住系サービスの1人当たりの給付額が全国・県平均と比べて高い。	サービス事業者が多く、一人一人に十分なサービスを提供出来ているのではないかと考える。	介護予防事業の普及によるサービス給付の増加の抑制。	
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列	113,036	114,947	116,986	117,608	113,452	114,719	114,920	118,079	118,281	119,152	118,718	121,878	126,338	128,845	128,503	133,177				
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列	58,350	61,170	65,352	68,551	58,224	59,927	62,037	65,171	73,426	75,248	76,919	79,925	59,662	61,232	66,075	68,831				
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-a	回	見える化・時系列	20.3	20.9	22.9	24.4	19.3	19.8	20.4	21.3	25.1	25.6	26.2	27.0	20.3	20.8	22.5	23.6				
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列	80,931	82,261	80,193	80,325	85,610	86,141	84,591	86,728	85,006	84,961	83,257	85,577	89,251	92,734	88,873	92,930				
受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	D31-e	日	見える化・時系列	10.5	10.8	10.6	10.5	10.9	11.0	10.8	11.0	10.9	11.0	10.7	10.9	11.1	11.4	11.0	11.4				
受給者1人あたり給付月額(通所リハ)	D17-g	円	見える化・時系列	54,632	52,166	53,164	53,659	61,300	61,472	60,197	61,788	59,317	59,650	58,136	59,675	77,923	65,373	64,480	65,557				
受給者1人あたり利用日数・回数(通所リハ)	D31-f	日	見える化・時系列	5.2	4.7	4.7	4.9	6.2	6.2	6.1	6.3	5.9	5.9	5.7	5.8	8.2	7.0	6.8	6.5				
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列	108,842	105,587	98,016	99,867	121,645	120,465	119,167	119,159	108,510	109,768	108,557	107,062	103,671	97,295	96,924	98,333				
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列	12.6	12.2	11.2	11.4	14.2	14.0	13.7	13.6	12.9	12.9	12.7	12.4	11.8	11.3	11.2	11.0				
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列	249,716	265,365	264,059	273,512	258,897	261,886	263,981	269,738	256,463	258,748	260,639	265,493	261,075	267,697	257,984	268,146				
				R2	R3	R4	R5																

(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)
※令和5年度については、R5.10月報までを反映

第9期計画における介護保険給付の見込み

(1) 介護給付費の見込み

■介護給付費（要介護1～5）

（単位：千円）

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
居宅サービス	2,694,072	2,805,439	2,923,266
①訪問介護	455,420	468,797	477,011
②訪問入浴介護	25,299	25,331	25,331
③訪問看護	177,189	193,157	210,641
④訪問リハビリテーション	31,936	31,976	33,707
⑤居宅療養管理指導	136,553	141,049	146,750
⑥通所介護	722,804	745,813	776,672
⑦通所リハビリテーション	57,313	58,744	63,771
⑧短期入所生活介護	167,741	172,517	180,217
⑨短期入所療養介護	5,937	6,329	7,443
⑩福祉用具貸与	149,917	154,633	160,603
⑪特定施設入居者生活介護	744,234	786,355	819,311
⑫特定福祉用具購入	5,029	5,299	5,631
⑬住宅改修	14,700	15,439	16,178
地域密着型サービス	545,304	629,907	688,569
①定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21,186	21,213	21,213
②夜間対応型訪問介護	0	0	0
③認知症対応型通所介護	8,999	11,454	13,898
④小規模多機能型居宅介護	90,619	94,208	98,103
⑤認知症対応型共同生活介護	245,032	275,860	296,063
⑥地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0
⑦地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0	0	0
⑧看護小規模多機能型居宅介護	-	46,065	76,774
⑨地域密着型通所介護	179,468	181,107	182,518
施設サービス	1,502,728	1,544,235	1,586,546
①介護老人福祉施設	1,064,595	1,083,790	1,101,139
②介護老人保健施設	423,327	440,679	460,699
④介護医療院	14,806	19,766	24,708
居宅介護支援	257,919	265,862	276,373
合計（Ⅰ）	5,000,023	5,245,443	5,474,754

※各項目は、それぞれ千円未満を四捨五入しているため、各項目の合計と実際の合計が一致しない場合があります。

資料4

■介護予防給付費（要支援1・2）

（単位：千円）

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防サービス	107,757	113,365	118,005
①介護予防訪問入浴介護	0	0	0
②介護予防訪問看護	12,372	12,388	12,973
③介護予防訪問リハビリテーション	5,440	5,954	5,954
④介護予防居宅療養管理指導	10,681	10,851	11,302
⑤介護予防通所リハビリテーション	11,851	12,134	12,630
⑥介護予防短期入所生活介護	775	776	776
⑦介護予防短期入所療養介護	0	0	0
⑧介護予防福祉用具貸与	16,281	16,852	17,480
⑨介護予防特定施設入居者生活介護	38,742	42,045	43,436
⑩介護予防特定福祉用具購入	2,615	2,615	2,954
⑪介護予防住宅改修	9,000	9,750	10,500
地域密着型介護予防サービス	0	0	0
①介護予防認知症対応型通所介護	0	0	0
②介護予防小規模多機能型居宅介護	0	0	0
③介護予防認知症対応型共同生活介護	0	0	0
介護予防居宅介護支援	17,765	18,373	19,074
合計（Ⅱ）	125,522	131,738	137,079

■総給付費（介護給付費+介護予防給付費）

（単位：千円）

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総給付費（Ⅲ） = 合計（Ⅰ）+合計（Ⅱ）	5,125,545	5,377,181	5,611,833

(2) 標準給付費の見込み

介護給付費と介護予防給付費を合わせた総給付費に、特定入所者介護サービス費等給付額、高額介護サービス費等給付額、高額医療合算介護サービス費等給付額、算定対象審査支払手数料を加えて標準給付費の見込額を算出します。令和6年度から令和8年度の3年間合計で約168億5,236万8千円になると見込みました。

（単位：千円）

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
総給付費（Ⅲ）	5,125,545	5,377,181	5,611,833	16,114,559
特定入所者介護サービス費等給付額	94,313	95,478	96,396	286,187
高額介護サービス費等給付額	125,803	129,693	130,861	386,357
高額医療合算介護サービス費等給付額	17,737	17,957	18,119	53,813
算定対象審査支払手数料	3,693	3,816	3,943	11,452
標準給付費	5,367,091	5,624,125	5,861,152	16,852,368

※第9期計画からの抜粋になります。

3 第1号被保険者の介護保険料の算出

介護保険事業を運営するために必要となる費用は、介護給付費、介護予防給付費、地域支援事業に要する費用、財政安定化基金拠出金、市町村特別給付費、財政安定化基金償還、保健福祉事業に要する費用等から構成されます。

(1) 蕨市介護保険給付費準備基金

第9期計画期間での介護保険料を軽減するため、介護給付費準備基金から4億5千万円を繰り入れることといたしました。

この繰り入れにより、保険料を月額710円軽減いたします。

■介護保険料額の軽減

軽減がないものとした場合の保険料月額(実力ベース)	6,472円
給付費準備基金の繰り入れによる軽減月額	710円
第9期 保険料基準額(月額)	5,762円

保険料段階について本市の介護保険料の所得段階は、より所得に配慮した設定とするため、第8期に引き続き14段階とし、令和6年度から令和8年度の3年間でこれらの必要となる費用および財源から算出した本市の介護保険料基準額は、月額5,762円となります。

※令和6年1月22日付厚生労働省老健局「令和6年度介護報酬改定における改定事項について」より抜粋しております。

5. ⑧ 地域区分①

概要

令和6年度以降の級地の設定に当たっては、現行の級地を適用することを基本としつつ、公平性を欠く状況にあると考えられる自治体については特例（※1）を設け、自治体に対して行った意向調査の結果を踏まえ、級地に反映する。また、平成27年度介護報酬改定時に設けられた経過措置（※2）については令和5年度末までがその期限となっているが、令和8年度末までの延長を認める。【告示改正】

（※1）

ア 次の場合は、当該地域に隣接する地域に設定された地域区分のうち、一番低い又は高い地域区分までの範囲で引上げる又は引下げることを認める。

- i 当該地域の地域区分よりも高い又は低い地域に全て囲まれている場合。
- ii 当該地域の地域区分よりも高い又は低い級地が設定された地域に複数隣接しており、かつ、その地域の中に当該地域と4級地以上の級地差がある地域が含まれている場合。なお、引上げについては、地域手当の級地設定がある自治体を除く。
- iii 当該地域の地域区分よりも高い又は低い級地が設定された地域に囲まれており、かつ、同じ地域区分との隣接が単一（引下げの場合を除く。）の場合。なお、引上げについては、地域手当の級地設定がある自治体を除く。 **（新設）**

イ 5級地以上の級地差がある地域と隣接している場合について、4級地差になるまでの範囲で引上げ又は引下げを認める。 **（新設）**

（注1）隣接する地域の状況については、同一都道府県内のみの状況に基づき判断することも可能とする。（アiのみ）

（注2）広域連合については、構成自治体に適用されている区分の範囲内で選択することを認めているが、令和5年度末に解散する場合について、激変緩和措置を設ける。

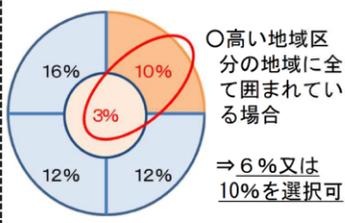
（注3）自治体の境界の過半が海に面している地域にあっては、イの例外として、3級地差以上の級地差であっても2級地差になるまで引上げを認める。

（注4）障害福祉サービス等報酬及び子ども・子育て支援制度における公定価格の両方の地域区分が、経過措置等による特別な事情で介護報酬の級地より高くなっている場合、その範囲内において、隣接する高い級地のうち最も低い区分まで引上げを可能とする。

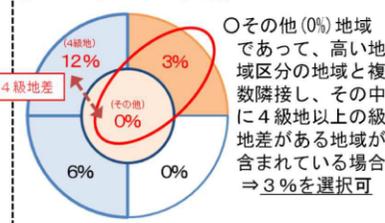
（※2）

平成27年度の地域区分の見直しに当たり、報酬単価の大幅な変更を緩和する観点から、従前の設定値と見直し後の設定値の範囲内で選択することが可能とするもの。

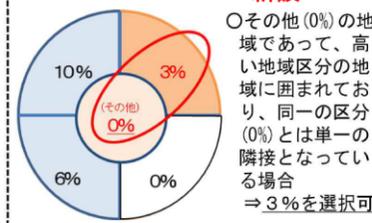
【ア i に該当する事例】



【ア ii に該当する事例】



【ア iii に該当する事例】 **新設**



【イ に該当する事例】 **新設**

